

合同研修会

甲佐高校と松橋西支援学校上益城分教室の職員で8月28日（木）に合同研修を実施しました。

甲佐高校の原校長のあいさつから始まった研修では、両校の職員が混ざってのグループワークも有意義な時間となりました。

甲佐高校 原 校長 あいさつ(抜粋)

インクルーシブな学校のモデル事業というのは、県教育委員会が文部科学省から指定を受け、学校が実践研究を進めるものです。現在だけではなく、むしろ数年後の教育現場を想定した取組となります。そこで想定される課題に対しても検討する研修というふうになります。今回の研修では探究活動の視点でも、先生方のこれまでの経験、想像力などそれぞれ出していただいて今回のテーマ等について、自由に意見を出し合っていただきたいと思っております。探究活動のポイントは意見否定するものではなくて、もっとこうしたら実現できるんじゃないかというプラスの意見を重ねていくことにあると感じております。

内容：

- (1)開会
- (2)あいさつ 甲佐高校 原 校長
- (3)インクルーシブな学校運営研究事業
 - ・進捗状況 ①第一回連絡協議会報告 ②ワクワク通信など
- (4)アンケート結果報告、質問への回答
 - ・職員、生徒のアンケート結果 など
- (5)グループワーク
 - ①自己紹介
 - ②テーマ 1つでも2つでも
- ※授業づくり、生徒指導、進路指導など教えてもらいたい（聞きたい）こと
困っていることなど ⇒ 同じ班のメンバーからアドバイスを
- ※共有スペース（ワクワクルーム仮）
- ※地域に対して両校が合同でできること
- ③各班の発表
- (6)各班から簡単に報告
- (7)まとめ 松橋西支援学校 松本 校長
- (8)閉会



写真：10月に実施した合同避難訓練

職員・生徒アンケート結果 抜粋

☆8月に実施した職員アンケート ☆

質問事項

- ・本事業に期待すること
- ・心配していること
- ・交流及び共同学習でやってみたいこと
- ・職員研修でやってみたいこと
- ・その他の意見

本事業に期待すること(両校の共通した回答)

○期待すること ○課題

- | | |
|------------------|--------------------|
| ・生徒の成長と交流の促進 | ・職員不足と業務負担 |
| ・教員のスキルアップと連携 | ・特別な配慮が必要な生徒の理解と対応 |
| ・インクルーシブ教育の理解と実践 | |

☆7月に実施した生徒アンケート☆

質問事項

- ・他校(例えば、特別支援学校や特別支援学級等)の児童生徒と交流したことがありますか
- ・どんな交流をしましたか
- ・楽しかったことはなんですか
- ・難しかったことはなんですか
- ・難しかったことは、どうすれば解決できると思いますか
- ・一緒にやってみたいことはありますか
- ・自由筆記

【楽しかったこと】

- ・協力することの楽しさ
- ・達成感
- ・いい思い出

【難しかったこと】

- ・コミュニケーション

【やってみたいこと】

- ・学校行事(文化祭 体育祭 等)
- ・ボッチャ
- ・ダンス
- ・みんなが楽しめるなどをやりたい

お知らせ: 11月8日(土)に甲佐高校の

青垣祭2日目(文化祭)生徒合同で合唱を
披露しました♪会場から盛大な拍手を頂きました♪

写真:甲佐高校生徒作 和傘



写真:分教室生徒作甲佐高校キャラクターの貼り絵

【難しかったことの解決方法】

- ・話し合う
- ・お互いをもっと知る
- ・いろいろな経験を積む
- ・準備をしっかりする

【自由記述】

互いの価値観や、違いをわかり合うことができるようになったら将来のことにも役に立て、自分たちの将来で、関わるであろう人たちと慣れ、理解することで、自分たちの成長にもなると思います。